

➤ ルートとダイヤの変更にあたっては、各主体が納得できる根拠を示すことが重要。

知恵袋

客観的なデータによるサービス水準見直しへの合意

⇒ **大学・病院・福祉バスの一元化による官民共同運行コミュニティバス〔北海道当別町〕**

- ・実際に運行を開始すると、利用者数が想定通りにいかない場合もあることから、適宜見直しを行うことが必要となる。
- ・しかし、一元化に参画した各主体にとっては、自分たちに関わる路線の変更、減便等は避けたいというのが基本的なスタンスとなる。
- ・当別町は、運行実績・OD 調査を基にサービス水準の変更を協議しており、利用者が少ないなどの客観的なデータを示すことで、各主体からサービス水準の変更の合意を得ている。